

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い!

コマなく さんぽ



中野区

郷土の文化遺産を保存し展示活用

1984年に名誉都民である山崎喜作氏から資料館敷地として自宅の土地約2,600㎡と資料が寄付され、1989年に山崎記念中野区立歴史民俗資料館として開館しました。中野の歴史に触れることができる豊富な展示資料を有しながらも、誰でも気軽に立ち寄り無料で利用できる施設として、区民を中心に活用されています。中野区の文化遺産の研究保全のほか、子どもたちの社会科見学など、地域への愛着や興味を育む活動に力を入れています。

屋内屋外に興味深い展示が満載

1階には特別展示室、2階には常設展示室と企画展示室が設けられています。2020年にリニューアルした常設展示は、中野の歴史と文化財の中でも特徴的なものを集めた「中野みどころの樹」を中心に、さまざまな資料や模型、デジタルコンテンツで旧石器時代から現代までわかりやすく紹介しており、区の歴史や文化財を詳しく学ぶことができます。江戸時代に建てられた江古田の旧家を移築再現した民俗展示は、昔の人々の暮らしをリアルに体験でき、弥生時代や江戸時代の衣装を試着できるコーナーとともに人気を呼んでいます。

野外には、山崎家庭園・茶室(春と秋に公開)のほかに、沢庵漬に使われた大きな樽の「とうご」や、江古田・沼袋地域であった合戦に由来する「金塚」など、地域の歴史を物語る文化財が展示されています。中野区指定記念物の樹齢約500年の「醤油屋のしいの木」も見応えがあります。

再訪する度新しい魅力を発見

毎春開催される「おひなさま展」など年6回の企画展示や季節ごとの趣向を凝らしたミニ展やワークショップなどのイベントは、子どもから大人まで幅広い層に楽しんでもらえるよう工夫されています。そのほか専属のデザイナーが学芸員とともに作りあげる、チラシやポスター、展示パネルといった質の高いグラフィック類も必見です。展示ごとに作るデザイン性の高い来館者プレゼントも好評です。さまざまな世代の人々に「また来たい」と思わせる満足度の高い仕掛けがたくさんある「れきみん」の魅力を探しに、ふらっと訪れてはいかがでしょうか。

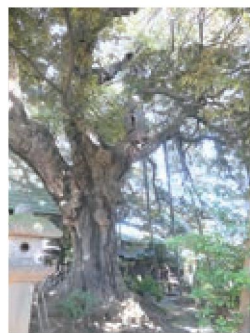
中野区の魅力を再発見

「山崎記念中野区立 歴史民俗資料館」

「れきみん」という愛称で区民に親しまれている「中野区立歴史民俗資料館」は、中野の歴史と文化を後世に伝えるだけでなく、現代の人々がその価値を再発見する場所として、中野区民のみならず多くの人に愛され利用されています。



▲中野の歴史を絵巻物のようにたどることができる常設展示



▲樹齢約500年のしいの木



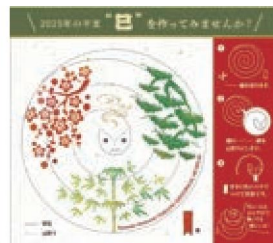
▲旧深野邸を復元した「民俗展示」



▲沢庵漬に使われた「とうご」



▲来館プレゼントのペーパークラフト



●館蔵品展「山崎家の漆器」

旧江古田村名主家・山崎家に受け継がれ、その暮らしの中にあつた漆器を紹介します。

開催期間:2025年4月22日～6月14日

山崎記念中野区立歴史民俗資料館

所在地 中野区江古田4-3-4
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日 月曜日、第3日曜日、年末年始
入館料 無料
アクセス 西武新宿線沼袋駅より徒歩8分
お問い合わせ 03-3319-9221

